

1 本年度の重点課題

1 確かな学力の定着・向上と学習指導要領に基づく力の育成
2 人権教育による豊かな心の醸成と規範意識の確立（一学校一改革：相手が笑顔になるあいさつ・返事）
3 気力・体力の向上（一校一運動「なわとび運動」の継続的な実施）
4 学習支援ボランティア等の効果的な活用（教科・読み聞かせ・クラブ活動等）
5 業務改善のための取組

2 評価と改善策等（4段階評価、評定3.0未満は太字）

評価内容		評価	課題・改善策
I 人権教育による規範意識の確立と生徒指導の徹底			
1 学校・学年・学級経営の充実			
① 確かな学力の定着、向上と学習指導要領に基づく力の育成を行っている。		3.1↑	▲自己肯定感を高めるために、子供たちの活躍等を様々な場面で紹介していきたい（HPや新聞等）。
② キャッチフレーズを子どもに定着させ、それに沿った行動を促進している。		2.8→	
③ 児童が自他のよさを見つけ合う、自己肯定感を高める経営が行われている。		2.9↑	
2 生徒指導の充実			
(一学校一改革)	あいさつ・返事・言葉遣い	2.2↓	▲あいさつに個人差がある→学期初めの1週間強調週間を設けて、意識づけを図る。 ▲学習用具は、週報等で呼びかけを行う。 ○生徒指導問題は、報・連・相を確実にいき、一人で抱え込まないようにしている。
① 基本的な生活習慣を確立するための指導を十分にいき、成果をあげている。	早寝・早起き・朝ご飯	2.8↑	
	学習用具の不備なし、忘れ物なし	2.4↑	
② 状況に応じた教育相談を適切に行っている。（子どもに対して、保護者に対して）		3.2→	
③ 生徒指導上の問題等に関する報告・連絡・相談が確実にいられ、問題等に対する組織的な対応ができていいる。		3.5→	
3 人権教育・道徳教育の充実			
① 人権教育の視点に立った教育活動を、全教育活動の中で計画的、意図的に進めている。		3.3↑	▲情報モラル教育については、継続的に全体指導を図っていく。 ○道徳教材等を用いて計画的に振り返りを行っている。
② 主題に即した適切な資料や指導方法を工夫し、道徳の時間の指導の充実が図られている。		3.2↑	
③ ICT利用に伴う情報モラルやマナーの育成を強化している。		3.0↑	
II 確かな学力の定着、向上と新学習指導要領に基づく力の育成			
1 基礎・基本の定着と活用する力の育成			
① 子どもたちの「なぜ？」を授業に生かし、学習の場を設定し、毎時間の授業の充実に努めている。		3.3↑	▲小中連携の共通実践事項については、全学年で学期初めに確認しておきたい。 ▲定期的に、学力調査を活用した家庭学習等もさせていきたい。
② 相手の話をしっかりと聞こうとしたり、声の大きさに気をつけて話したりする態度が身につくように努めている。		3.0↑	
③ 単元テストや諸学力調査の結果分析を、具体策につなげ、実践している。		3.2↑	
④ 小中連携研修会、幼保小連携研修会での共通実践事項を実践している。		3.1↑	
⑤ 校内研修は計画的に推進され、内容は、学校や職員の必要性に沿った有意義なものとなっている。		3.6↑	
⑥ 校内研修での共通実践事項を徹底し、児童の学力向上に生かしている。		3.4↑	
⑦ 諸研究公開や講座等への参加は積極的になされ、その成果は、職員全体へ還元されている。		3.2↑	
2 個に応じた指導の充実			
① 個に応じたきめ細やかな指導を通して、どの子どもも授業の内容がよく分かるようにする。		3.3↑	○読書環境が最適で且つ子供たちの居場所づくりの一つとなっている。 ○国語学習と連動した図書室活用ができた。並行読書を含め、充実した読書活動ができた。
② 読書指導が計画的になされ、子ども一人一人の充実した読書活動が展開されている。		3.3↑	
③ 個別の指導計画・支援計画に基づき、適切な就学指導、入級指導がなされている。		3.3↑	
④ 特別支援教育についての保護者・児童への啓発が適切に行われ、理解を深めることができていいる。		2.9↑	
III 気力・体力の向上		2	

1 体育・保健指導の充実		
① 個々の目標をもたせ、自主的、積極的な運動等、体力づくりの生活化を図っている。(一校一運動の推進：なわとび運動)	2.8↑	▲運動会に向けて、ラジオ体操やかけっこ、バトンパスの技法を全学年で取り組みたい。 ▲けが防止のため、KYTが必要な児童へ根気強く話をしていきたい。
② 時期により、TT指導や講師招聘、各種教室の開催など、専門性を生かした指導を取り入れている。	3.0→	
③ 健康の保持増進に関する意識・実践力の向上を図っている。(むし歯予防、視力低下防止、けが防止)	2.9↑	
④ 給食指導が十分になされ、「あと一口」で残食0を目指す。	2.8↓	
2 特別活動や体験活動の充実		
① 各種特別活動は自主・自発的な活動を推進し、子どもが自らの活動に充実感や有用感等をもつことができている。	3.1↑	○なかよし音楽会での子供たちのがんばりは立派であった。
② 学校行事の時期、内容等は適切であり、それぞれのねらいを達成することができている。	3.3→	
IV 安全に配慮した、開かれた学校づくり		
1 危険予知・回避能力の育成		
① 場や内容の設定を工夫した訓練や教室を実施している。	3.2↓	●廊下歩行に課題がある→職員全体で共通した指導をする必要がある。
② 異年齢集団のよさを生かした集団下校や訓練等を行っている。	2.9↑	
③ 安全管理についての情報を保護者や地域へ周知し、協力態勢の確立に努めている。	3.0↑	
2 安全管理の徹底		
① 安全点検とその事後処置が確実になされている。	3.4→	
3 校内美化活動の推進と充実		
① 教室や廊下、階段等の設営を計画的に行っている。	3.2↑	○人権コーナーの設営が充実している。 ▲教児一体にならないと動かない子が多い→しばらくは見届けが必要である。
② 教児一体となって清掃活動やエコ活動に取り組み、また、子どもへの指導、見届けを十分に行っている。	2.9↑	
③ 学級園や一人一鉢に主体的に取り組ませている。	3.0↑	
4 開かれた学校・信頼される学校の推進		
① 各家庭やPTAとの連携が十分に行われ、課題等の解決、諸計画の推進などが適切になされている。	3.1↑	○学校の情報をできるだけHPで発信し、地域からの情報は、職員連絡会等でも伝えるようにしている。
② 地域の中の学校という立場から、地域等とのかかわりを積極的に持とうとすることに努めている。	3.0↑	
③ 学級・学年便り、HP等で、家庭や地域へ情報発信を積極的に行っている。	3.6↑	
V 地域の特徴を生かした体験活動の充実		
1 郷土教育の充実		
① 学校支援ボランティアを始め、地域の人材を積極的に活用している。	3.4↑	○地域素材を活用した授業が多く行われた。 ○総合では、地域の行事や文化を調べる機会があった。
② 地域の素材を活用した体験活動を取り入れている。	3.1↑	
③ 地域行事に進んで参加するよう呼びかけを行っている。	3.0↑	
VI その他 業務改善(県の施策から)		
① 学校は業務改善が進んでいると感じる。	3.1↑	○退庁時刻について確認を行い、校内放送で早めの帰宅を呼びかけた。
② 学校の1アクション(19:30セット)をできるだけ守る。	3.5↑	
③ 本年度の自分の1トライはできるだけ実践している。	3.2↑	
④ 毎月30時間以内年間240時間以内の時間外勤務を守ろうとしている。	3.5↑	

3 次学期へ向けての取組

- 教育課程の確実な実施と内容の見直しや精選による校務改善を積極的に推進する。
- 基本的な生活習慣(学習・日常生活)の確立に向け、共通理解及び共通実践を更に推進する。
- 効果的な教育機器を活用した協働的な学び合いを意識し、指導法の工夫・改善を推進する。